

こども家庭センターについて

母子保健機能・児童福祉機能について

子育て世代包括支援センターとは

【目的】

母子保健と子育て支援施策を切れ目なく提供

【対象】

妊産婦、乳幼児、保護者等

【母子保健機能とは】

妊産婦・乳幼児の実情把握、相談助言、サポートプラン作成、関係機関との連携業務

子ども家庭総合支援拠点とは

【目的】

管内に居住するすべての子どもの福祉に関する支援、特に要支援要保護児童等への支援

【対象】

管内に居住する全ての子どもと家族

【児童福祉機能とは】

こども、家庭、妊産婦の福祉に関し、必要な支援を行う。要支援・要保護・妊婦を対象とした要支援児童への支援を行う。

設置目的（児童福祉法改正 R6.4.1施行）

- 母子保健・児童福祉の両機能の連携・協働をより深め、子育てに困難を抱える家庭に対し、切れ目なく対応していく。
- 「子育て世代包括支援センター」（母子保健）と「子ども家庭総合支援拠点」（児童福祉）の設立の意義や機能は維持した上で、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機関「こども家庭センター」を設置する。

横須賀市 こども家庭センター (こども家庭支援センター長)

こども家庭支援課
(副センター長)

健康部 地域健康課
(副センター長)

〔 児童福祉機能 〕
・こども家庭支援課

新 地域資源開拓に必要な
コーディネーター 1名配置
(会計年度任用職員)

母子保健機能
・保健師等

児童福祉機能
・虐待対応専門員
・子ども家庭支援員
・心理担当支援員

統括支援員

連携



〔母子保健機能〕

・地域健康課

新 統括支援員 1名配置

・中央健康福祉センター

新 サポートプランに係る支援員 2名配置

・北健康福祉センター

・南健康福祉センター

新 サポートプランに係る支援員 1名配置

・西健康福祉センター

※統括支援員は、こども家庭支援課と地域健康課の両課を横断し、マネジメントする

●統括支援員の業務

- 母子保健部門、児童福祉部門における連携強化に向けた調整
- 合同ケース会議の開催（母子保健と児童福祉の参加が**必須**）
- 特定妊婦や要支援者の情報共有と助言（チーム会議、サポートチーム会議等への参加）
- サポートプラン作成に関する助言
- 地域資源開拓について情報共有

●地域資源開発コーディネーターの業務

- 地域全体のニーズ及び既存の民間団体による多様な支援について情報収集し、「地域資源の見える化」を図っていく。

こども家庭センターを設置することで

【強化される4つの柱】

1. 市町村における家庭・養育環境支援の強化
2. 児童相談所の支援機能等の強化
3. 子どもを中心として考える社会的養育の質の向上
4. 人材育成等

母子保健部門と児童福祉部門の連携・協同を深め、児童虐待予防の対応を切れ目なく行えるよう、市町村の体制強化を図る。